



「桜」から新たに始まる トルコとの友情物語。

エルトゥールル号遭難事故から120年、日本トルコ友好120周年の今年1月、アンカラ、イスタンブール、イズミットなどトルコ国内各地で「さくらプロジェクト」が行われ、日本から運ばれた3千本の桜が植樹された。

「これら桜のケアは今、始まったばかりです。これから成長し、花を咲かせて行く。日本とトルコが力を合わせ、友情の証として大切に育てていきたいです。」と外務省の担当者は語る。

「日本にもトルコとの友好を深めようとする団体が沢山あり、今までも熱心に活動されてきました。トルコとはエルトゥールル号の悲劇から120年間友好な関係を保ってきました。今後さらにこの友情の幹を太くしたいと思っています。」
この桜が友好の象徴として咲き誇るのを見てみたい。



日本トルコ友好120周年関連事業として今年6月3日に串本町大島で行われたエルトゥールル号殉難将士洋上追悼式典。



串本町大島の櫻野埼灯台前に建つ、トルコ建国の父ムスタファ・ケマル・アタテュルクの像。彼が指差す方向には、エルトゥールル号が沈没した舟甲羅と呼ばれるポイントがある。

REAL TURKEY トルコってどんなところ？



アキテストラベルはトルコに本社がある旅行代理店。エロルさんは一年中、トルコと日本を行ったり来たり。

エロル・シャファックさんは東京でアキテストラベルという旅行会社を営む実業家。奥さんは作家の及川眠子さん。トルコは地理的にも文化的にもアジアとヨーロッパが混じり合ったエキゾチックな国で、様々な文化が融合し独自の文化が発展した。「トルコはイスラム教の国。でもイスタンブールではホットパンツ姿の女性とスカーフで顔を隠した女性が仲良く道を歩いています。串本は第二の故郷とも言える所。日本とずっと観光交流ができればいいね。そして今年は多くのトルコの人たちを串本を案内したいですね」とエロルさんは語る。

アキテストラベル 日本支社 電話03-6427-4140



「トルコにおける日本年」とは、トルコ国内において日本の魅力を紹介する事業と共に、交流事業を通じて両国の友好関係をより一層深めようとするプロジェクト。また今年は「トルコ交友120周年」の大きな節目の年である。今後のイベントスケジュールなどは外務省HPで確認できる <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/turkey/2010/index.html>